

働く者の立場で政策制度、組織課題の前進を図り、将来に亘り安全で社会に信頼されるJRを築こう!



日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
facebook
twitter

http://www.jr-rengo.jp JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

第24回参議院選挙結果

推薦候補 比例区4名・選挙区4名が当選



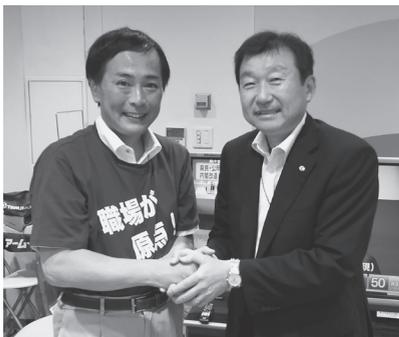
J R 連合陣営と握手し、初当選の喜びを表す矢田氏(中央)



3期目の当選をかけた支援者と万歳をする小林氏(右)



引き続き議員フォーラムでの活躍を約束する難波氏(左)



国政復帰でJ R 連合との相互協力を確認しあう川合氏(左)

6月22日公示、7月10日投票となった第24回参議院選挙は、昨年からの安全保障関連法案や雇用法制、TPPなどをめぐる国会論戦と「政治とカネ」の問題など政治に対する国民の政治への関心の高まりとともに、18歳への選挙権年齢引き下げもあり、期日前投票

民進党は比例区11議席獲得 全体で32議席を獲得

7月10日投票の第24回参議院選挙では、自民党が単独過半数とはならなかったものの定数242議席の半数121議席となった。一方、民進党は、比例区で前回の7議席を上回る11議席を獲得したものの、32の1人区をはじめとする選挙区では苦戦し、32議席にとどまった。

政策・制度実現、組織課題の解決に向けて 当選議員と連携していく

への関心の高まりが最後まで投票行動に繋がらなかったことによるものである。政治には無関心でいられても無関係ではいけないこと

推薦候補への支援・献身的な取り組みに感謝

今回の選挙の結果、自民党が参議院定数242議席の半数の121議席に届き、また、自民・公明・おさか維新のいわゆる改憲勢力は、非改選議員を含めて憲法改正案の発議に必要な議員定数242の3分の2を上回る165議席となった。

《比例区推薦候補者開票結果》

民進党：獲得議席11

Table with 4 columns: 候補者名, 出身組織, 結果(政党順位), 得票数. Lists candidates like 小林正夫, 矢田稚子, etc.

※得票数の按分票による小数点以下は省略

J R 連合は、比例区6名と選挙区8名の最重要・重点支援候補者を推薦し、全員当選にむけて取り組んできた。厳しい選挙戦を余儀なくされた各推薦候補者は、堂々と選挙戦を闘い抜き、比例区においては小林正夫氏(電力総連)、矢田稚子氏(電機連合)、川合孝典氏(UAゼンセン)、難波氏(UAゼンセン)、難波氏(UAゼンセン)の4名が、選挙区においては、福山哲郎氏(京都)、柳田稔氏(広島)、蓮舫氏(東京)、小西洋之氏(千葉)の4名がそれぞれ激戦を制した。

《当選した選挙区候補者》



福山 哲郎氏

柳田 稔氏



小西 洋之氏

蓮 舫氏

知って活かそうワークルール34

Q 労働契約について、誤っているものをすべて選びなさい。【正答率46%】

- 1 使用者は、パートタイム労働者に対しては、書面で労働条件を明示しなくてもよい。
2 労働契約が成立するためには、口頭による合意では足りず、書面による合意が必要である。
3 労使で合意すれば、労働協約の不履行について違約金を定めることも有効である。
4 明示された労働条件が事実と相違する場合、労働者は即時に労働契約を解除することができる。

A 重要な労働条件については、書面による労働条件の明示が使用者に義務づけられています。パートタイム労働者に対しても書面による労働条件明示が必要ですので、1は誤りとなります。労働契約は口頭による合意でも成立しますので、2も誤りです。使用者は、労働契約の不履行について違約金を定め、または損害賠償額を予定する契約を締結することはできません。したがって、3も誤りです。労働契約の即時解除については労基法15条2項に定めがあり、4は正しいということになります。よって、解答は1、2、3になります。
(ワークルール検定問題集 2016年版 「中級問題・労働契約」より出題)

《議員懇談会・議員フォーラム所属 推薦候補者(選挙区) 開票結果》

Table with 4 columns: 候補者名, 選挙区(定数), 結果, 得票数. Lists candidates like 尾立源幸, 林久美子, etc.

しかしながら、比例区の藤川氏(私鉄総連)の2名と、選挙区の林久美子氏(滋賀)、前川清成氏(奈良)、水岡俊一氏(兵庫)の3名が惜敗することとなった。また、大阪選挙区の「J R 連合国会議員懇談会」副会長の尾立源幸氏については、最重要支援候補として全力で取り組んだものの、残念ながら当選を果たすことができなかった。

最後に、ご支援いただいた組合員や家族をはじめとする関係各位に御礼申し上げますとともに、推薦候補の必勝にむけてますます献身的に奮闘されたすべての組合員に対して、心から感謝を申し上げます。

※「参議院選挙結果を踏まえてのJ R 連合コメント」は裏面掲載

現場実態について意見を交わす

自動車連絡会第2回幹事会、国交省自動車局との意見交換

J R 連合自動車連絡会は、6月15日、第2回幹事会を開催し、1月に発生した軽井沢スキーバス事故の事故対策検討委員会の最終とりまとめをはじめとする昨今のバス行政の動向について情報共有を図った。また、今年で3回目となる2017春季生活闘争にむけた賃金・労働条件実態調査について協議した。

また、幹事会の後、順延してきた国交省自動車局との意見交換会を行い、各幹事は働く者の視点で構造的な問題も含めて同局担当者らと率直な意見交換を行った。西原代表幹事（J R 西労組 西バス地本）は、バス事故対策について、実効性ある監査の必要性や、参入規制の緩和による貸切バス事業

者の供給過多の現状におけるバスの需給調整規制の必要性などについて訴えた。また、慢性化しているバス運転者不足への対応については、貸切バス運賃・料金

制度ワーキンググループで一定の改善が図られたものの、人材を確保し魅力ある産業とするためにはまだまだ運賃・料金の改善が必要であると指摘した。特に、昨



国交省自動車局との意見交換会で発言する自動車連絡会西原代表幹事

第24回参議院選挙結果を踏まえてのJR連合コメント

2016年7月11日
日本鉄道労働組合連合会（J R 連合）

7月10日に投票が行われた第24回参議院選挙においてご支援いただいた組合員や家族をはじめとする関係各位に御礼申し上げますとともに、推薦候補の必勝にむけてまさしく献身的に奮闘されたすべての組合員に対して、心から感謝を申し上げます。

今回の選挙の結果、自民党が単独過半数とはならなかったものの定数242議席の半数121議席となった。また、自民・公明・おおさか維新のいわゆる改憲勢力は、非改選議員を含めて憲法改正案の発議に必要な議員定数242の3分の2を上回る165議席となった。

一方、民進党は、比例区で前回の7議席を上回る11議席を獲得したものの、32の1人区をはじめとする選挙区では苦戦し、32議席にとどまった。安保法案をめぐる国会論戦や政治資金の問題など政治に対する関心の高まりとともに、18歳への選挙権年齢引き下げもあったものの、一方で与野党の対立軸が不明瞭であったこともあり、投票率は前回より2ポイント程度上回る54%台後半にとどまる見込みとなった。政治への関心の高まりが投票行動に十分に繋がっていないことについては、今一度、国民一人ひとりが、厳粛に受け止めるべきである。

民進党には、野党第一党として健全な野党勢力となるべく国民から寄せられた多くの期待を重く受け止め、まじめに働く者のための政治の早期実現にむけて、なお一層邁進されることを期待したい。

J R 連合は、比例区6名と選挙区8名の最重点・重点支援候補者を推薦し、全員当選にむけて取り組んできた。厳しい選挙戦を余儀なくされた各推薦候補者は、堂々と選挙戦を闘い抜き、比例区においては小林正夫氏（電力総連）、矢田稚子氏（電機連合）、川合孝典氏（U A センセン）、難波獎二氏（J P 労組）の4名が、選挙区においては、福山哲郎氏（京都）、柳田稔氏（広島）、蓮舫氏（東京）、小西洋之氏（千葉）の4名がそれぞれ激戦を制した。今後、国政の場でその実力を縦横に発揮されることを期待したい。

しかしながら、比例区の藤川慎一氏（J A M）、森屋隆氏（私鉄総連）の2名と、選挙区の林久美子氏（滋賀）、前川清成氏（奈良）、水岡俊一氏（兵庫）の3名が惜敗することとなった。また、大阪選挙区の「J R 連合国会議員懇談会」副会長の尾立源幸氏については、最重点支援候補として全力で取り組んだものの、残念ながら当選を果たすことができなかった。

J R 連合は、今回の選挙結果を真摯に受け止めるとともに、低投票率については政治活動の意義の浸透やさらなる政治への参画意識の醸成などの今後の取り組みにむけて、引き続き組織内において議論を深めることとする。

イギリスのEU離脱問題の影響もあり、円高株安となって経済状況が不透明さを増す中、先送りされたTPP関連法案や雇用法制に関する国会審議とともに、憲法改正の発議などの動向も注視が必要であり、衆議院解散・総選挙についても予断を許さない状況である。

J R 連合は、連合に集う構成組織の責任ある一員として、また、J R の最大産別として、一層の団結強化を図り、次期選挙の必勝、そして政策・制度実現と民主化闘争勝利をはじめとする諸活動の完遂にむけて一丸となって取り組むこととする。

以上

今の高速バス運賃・料金の過当競争に対して行政として歯止めが必要であると訴えた。小西幹事（J R 東海バスユニオン）からは、運転者不足によって現場では休日出勤が慢性化している実態を報告し、バス事業者間で運転者の取り合いや、若年退職の増加の課題を指摘した。また、角当幹事（J R 九州バス労組）からは、厚労省の改善基準告示と国交省のバス運転者の配置基準について、現場の中で運輸局や労基署などの対応が見解が違ふことで悩まされている実態を指摘し、両基準の整合性をとり現場が守れるルールにすべきである

と訴えた。その他、車輛構造や路線バスの維持・運行費の補助制度の課題についても意見交換を行った。国交省自動車局からは「現場で活躍されている皆さんと行政が一緒になって議論を進めていく必要がある。今後も折に触れて意見交換をしていきたい」との見解が示された。

自動車連絡会は、今後も現場の実態などについて国交省自動車局と定期的に意見交換を行い、バス産業の構造的な課題に対する行政への意見提言に取り組むとともに、バス運転者の労働条件の改善にも積極的に取り組んでいく。

早川町ボランティア活動 地域とのパートナーシップ構築に二役

J R 連合及び在京4単組（J R E ユニオン、J R 東海ユニオン、J R 西労組、貨物鉄道労働組合）の組合員19人が6月11・12日に山梨県早川町で地域活性化ボランティア活動として、農道や休耕地の草刈や獣害防止の電気柵整備に汗を流した。

早川町は、山梨県の南西部に位置し、南アルプスの山々に囲まれた自然豊かな町で、東西15・5km・南北38kmの広大な面積を有している。人口約11000人あまりで65歳以上の高齢化率50%以上の限界集落となっており、休耕地の増加や農作物の獣害被害等も深刻な問題になっている。早川町での地域活性化ボランティア活動は、J R 連合地域活性化にむけた政策提言「7つのパートナーシップ」に基づき、同町のNPO法人日本上流文化圏研究所と共同で2008年から年2回の活動を行っている。

参加者は、セギと呼ばれる道路脇の用水路にたまった枯葉や土砂の除去作業、農道の除草やノシシが掘った穴埋めなどの整備、獣害電気柵周辺の整備などを中心に行った。いずれも地区内に担い手が少ないために

J R 北労組旭川地区本部は旭川駅より西へ徒歩5分の所に事務所があります。

旭川は北海道では札幌に次ぐ第2の都市で旭川駅はJR函館本線・石北本線（網走）・宗谷本線（稚内）・富良野線（富良野）の起終点となっていて4路線の接続駅になっています。2011年11月に「川のある駅」をコンセプトに改装された旭川は、川が流れている旭川を象徴するデザインになっていて、駅舎内は木材を多用し落ち着いた雰囲気があります。

旭川は北海道では札幌に次ぐ第2の都市で旭川駅はJR函館本線・石北本線（網走）・宗谷本線（稚内）・富良野線（富良野）の起終点となっていて4路線の接続駅になっています。2011年11月に「川のある駅」をコンセプトに改装された旭川は、川が流れている旭川を象徴するデザインになっていて、駅舎内は木材を多用し落ち着いた雰囲気があります。

られる創りで、新たな観光名所として注目されています。旭川の地名の由来は諸説ありますが、アイヌ語で「チユブ・ベ」が語源と言われ、「チユブ」は「川」の意、「ベ」は「川」の意味で「川」を「旭」に置き換えて「旭川」と意識して名付けたと言われています。

北海道最大の盆地となる上川盆地に位置し、夏と冬の寒暖の差が70度前後もある激しい内陸性気候で大雪山の清水で豊富な森林資源を生かした農業・家具・バルブなどの製造業、清酒・ラーメンなど

の食品加工業が盛んで、旭川駅から（途中左に大雪地ビル館あり）徒歩15分の高砂酒造では搾りたての原酒をそのまま瓶詰めした生酒の試飲販売をしています。中でもラーメンはWスープと呼ばれる豚骨・鶏ガラと魚介ベースの醤油スープにラー油を入れるのが特徴的です。麺は低加水細ちぢれ麺で後まで熱々で食べられるのも旭川のマイナスイオン30℃になる極寒地ならではの人気の秘訣です。

また、旭川を代表する景色と言えば、勇壮にそびえる「大雪山連

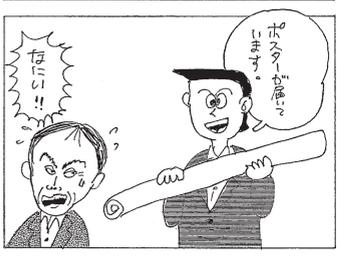
峰」ですが、日本最北に位置し行動展示で注目を集めた「旭山動物園」、全国初の歩行者天国「平和通買物公園」「旭橋」「神居古潭」など見所満載な景観がたくさんありますので是非一度足を運んではいかがでしょうか。

石狩川水系の忠別川に臨んで建つ旭川駅

ア活動として、農道や休耕地の草刈や獣害防止の電気柵整備に汗を流した。

早川町は、山梨県の南西部に位置し、南アルプスの山々に囲まれた自然豊かな町で、東西15・5km・南北38kmの広大な面積を有している。人口約11000人あまりで65歳以上の高齢化率50%以上の限界集落となっており、休耕地の増加や農作物の獣害被害等も深刻な問題になっている。早川町での地域活性化ボランティア活動は、J R 連合地域活性化にむけた政策提言「7つのパートナーシップ」に基づき、同町のNPO法人日本上流文化圏研究所と共同で2008年から年2回の活動を行っている。

参加者は、セギと呼ばれる道路脇の用水路にたまった枯葉や土砂の除去作業、農道の除草やノシシが掘った穴埋めなどの整備、獣害電気柵周辺の整備などを中心に行った。いずれも地区内に担い手が少ないために



日頃の作業が困難なものばかりであった。

また、作業後には住民の皆さんと意見交換会を行い、これから本格化するリニア新幹線工事状況や若年世代の移住についてなど、貴重な話も聞くことができた。

J R 連合は、地域と関わりを持つ中で、地域公共交通であるJ R の存在意義や役割を再認識するためにも活動を継続していく。



農道の落物や堆積物を除去するボランティア参加者

家族の幸せを災害から守る 交運共済

火災共済 オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障+修理費用

※借家にお住まいの方のみ

オプション保障（類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用）は、共済火災海上保険協同引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みなで暮らしをガード 交運共済 (JR職域生協) 全国交通運輸労働者共済生活協同組合

B1424401E2144-20150209